



Title	中央アジア関連研究文献リスト2017
Citation	日本中央アジア学会報, 14, 67-72
Issue Date	2018-07-31
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/88341">http://hdl.handle.net/2115/88341</a>
Type	other
File Information	JB014_015list.pdf



[Instructions for use](#)

## 中央アジア関連研究文献リスト 2017

本リストは、2017年(1月～12月)に刊行された、原則としてイスラーム化以降の中国新疆、旧ソ連領のムスリム地域およびその周辺地域に関する学術文献をリストアップしたものである(理科系のものを除く)。原則的に、国内で刊行された、国内で活動する研究者による著作を中心とし、エッセイや辞典項目等は除外した。ただし、本学会会員の著作については、海外刊行のものも一部含まれる。なお、各文献の副題はコロンつなぎで統一した。

## 書籍

- 宇山智彦責任編集『越境する革命と民族(ロシア革命とソ連の世紀5)』岩波書店(3,700円+税)
  - 宇山智彦「総説 ユーラシア多民族帝国としてのロシア・ソ連」
  - 同「ロシア・ムスリムの革命と「反革命」：「想像の帝国」との協力と闘い」
  - 半谷史郎「ソ連の民族政策の多面性：「民族自決」から強制移住まで」
  - 吉村貴之「カフカスの革命：国際政治に翻弄された民族自決」
  - 長縄宣博「反帝国主義の帝国：イスラーム世界に連なるソヴィエト・ロシア」
  - 地田徹朗「ブレジネフ期連邦構成共和国の政治と民族の問題：クルグズスタンを事例として」
  - 青木雅浩「ルスクロフ：中央アジアとモンゴルを股にかけた革命家」  
などを所収
- 帯谷知可編著『社会主義的近代とイスラーム・ジェンダー・家族1』京都大学東南アジア地域研究研究所(非売品)
  - 帯谷知可「20世紀初頭の帝政ロシアにおけるムスリム女性をめぐる議論についての覚書：N. オストロウーモフ「ムスリム女性の権利の状況(カザン、1911年)から」
  - 宗野ふもと「シャフリサブズ「フジュム」芸術製品工場について：ソ連期ウズベキスタンにおける手工業の集団化と女性の労働」
  - 和崎聖日「マフルの是非をめぐる知識人のまなざし：1950-1970年代ソ連中央アジア南

部地域における反イスラーム宣伝と現代」

- KARIMOVA Shakhzoda and AZIMOVA Nodira, “Modern Uzbek Family and Marital Relations: A Case Study on Mindon Village, Ferghana Province”

などを所収

■外務省欧州局中央アジア・コーカサス室『中央アジア・コーカサスと日本：四半世紀を経て深化する8カ国とのパートナーシップ』外務省国内広報室(非売品)

■櫻間瑛、中村瑞希、菱山湧人『タタールスタンファンブック：ロシア最大のテュルク系ムスリム少数民族とその民族共和国(連邦制マニアックス Vol.1)』パブリブ(2,200円+税)

■塩野崎信也『〈アゼルバイジャン人〉の創出：民族意識の形成とその基層』京都大学学術出版会(5,000円+税)

■鈴木隆・西野真由編『現代アジア学入門：多様性と共生のアジア理解に向けて』葦書房(1,800円+税)

- 田中周「中央アジアからみた中国と日本」

などを所収

■中央大学政策文化総合研究所「日本とユーラシア社会：海洋と大陸の歴史・文化」プロジェクト編集・発行『日本とユーラシア社会：調査の現場から』(非売品)

- 堀直「1983-2007年の新疆事情調査：私的回顧と全体展望」

- 真田安・新免康「新疆におけるバザール・マザール調査(1996年)をめぐって」

- 森川哲雄「九州地区における新疆現地調査(人文系)の概要」

- 渡邊三津子「地理学分野における新疆調査の状況」

- 梅村坦「日本の人文系分野における新疆現地調査研究(1970年代~)の回顧について(附1：小島康誉氏の訪問実績、附2：華立氏「清代回民の新疆移住史をめぐる現地調査について」)」

- 鷺尾惟子「音楽事情を中心とした新疆調査の概要：報告レジュメから」

などを所収

■長縄宣博『イスラームのロシア：帝国・宗教・公共圏、1905～1917』名古屋大学出版会(6,800円+税)

■日本口承文芸学会編『こえのことばの現在』三弥井書店(2,800円+税)

- 坂井弘紀「叙事詩と語り手：中央ユーラシアを例に」

などを所収

■フィンドリー・カーター・V(小松久男監訳、佐々木紳訳)『テュルクの歴史：古代から近現代まで』明石書店(5,500円+税)

■ベックウィズ・クリストファー(斎藤純男訳)『ユーラシア帝国の興亡：世界史四〇〇〇年

の震源地』筑摩書房(4,200円+税)

- 村上勇介、帯谷知可編『秩序の砂塵化を超えて：環太平洋パラダイムの可能性』京都大学  
学術出版会(3,500円+税)
  - 宇山智彦「権威主義の進化、民主主義の危機：世界秩序を揺るがす政治的価値観の変容」
  - 帯谷知可「イスラーム観の違いを克服する：ポスト社会主義、イスラーム復興、権威主義の交錯するウズベキスタンの課題」
 などを所収
- 山内昌之『中東とISの地政学：イスラーム、アメリカ、ロシアから読む21世紀』朝日新聞  
出版(1,900円+税)
- 歴史学研究会編『第4次現代歴史学の成果と課題(第2巻：世界史像の再構成)』續文堂出版  
(3,200円+税)
  - 野田仁「中央ユーラシア史研究の展開」
 などを所収
- DADABAEV Timur and KOMATSU Hisao eds., *Kazakhstan, Kyrgyzstan, and Uzbekistan: Life and Politics during the Soviet Era*, New York: Palgrave Macmillan
  - KOMATSU Hisao, “Collective Memory, Oral History and Central Eurasian Studies in Japan”
 などを所収
- ESENBEL Selçuk ed., *Japan on the Silk Road: Encounters and Perspectives of Politics and Culture in Eurasia*, Leiden-Boston: Brill
  - KOMATSU Hisao, “Abdurreshid Ibrahim and Japanese Approaches to Central Asia”
 などを所収
- Международное научное совещание «Переосмысление восстания 1916 года в Центральной Азии»: сборник статей. Бишкек: Нео Принт
  - Уяма Томохико. Почему крупное восстание произошло только в Центральной Азии? Административно-институциональные предпосылки восстания 1916 года
 などを所収
- «Орталық Азиядағы жапонтану: бүгінгі мен болашақтағы даму бағыттары» атты халықаралық ғылыми-тәжірибелік конференция материалдары. (中央アジア諸国日本研究カンファレンス論文集) Алматы: эл-Фараби ат. ҚазҰУ
  - Уяма Томохико. Японско-центральноазиатские отношения в глобальном контексте
  - 芹川京次竜「年末商戦におけるカザフスタンの商人たちの実践：ニコールスキーバザールの事例」
 などを所収

## 論文

- 石井智美、塚口朋美「カザフスタン共和国西部地方での食生活調査」『北海道民族学』13, 51-57頁
- 井上岳彦「遊牧指導者の変容する権力：一七世紀初め～二〇世紀初めにおけるカルムイク草原社会」『ロシア史研究』100, 145-165頁
- 鶴島三壽「新疆ウイグル自治区における雑技系芸能の分布と特色」『関西外国語大学研究論集』105, 155-170頁
- ヴォロビョヴァ＝デシャトフスカヤ・マルガリータ「中央アジア仏教文化研究者としてのオルデンブルグ」『東洋学術研究』56:2, 122-139頁
- ウトメバエワ・カリマン「知られざるユーラシア(No.28)ソ連崩壊前後のクルグズ共和国とカザフスタンにおけるアイトゥシュ／アイトゥスの復興」『ユーラシア研究』56, 65-68頁
- 小野亮介「戦中期における在日・在満タタール人の国際移動：アズハル留学とトルコ転籍問題をめぐって」『地域文化研究』18, 227-248頁
- 川口琢司「ティムール朝と中央アジア史」『歴史と地理：世界史の研究(251)』704, 35-38頁
- 河野敦史「ワリー・ハーンの侵入事件(1857年)とヤルカンド」『中央大学大学院研究年報：文学研究科篇』46, 47-61頁
- 川本正知「チャガタイ・ウルスとカラナウス＝ニグダリヤーン：『歴史集成』「チャガタイ・ハン紀」の再検討」『西南アジア研究』86, 79-111頁
- カランダロフ・トヒル(宇山智彦編訳・序文・注釈)「パミールのイスマール派：認知されざる諸民族、宗教共同体としての将来」『日本中央アジア学会報』13, 25-37頁
- 熊倉潤「新疆ウイグル自治区におけるガバナンスの行方」『問題と研究：アジア太平洋研究専門誌』46(2), 117-148頁
- 小林善文「新疆ウイグル自治区南部の水環境」『神戸女子大学文学部紀要』50, 61-72頁
- 小松久男「近現代中央アジアにおけるイスラームの展開」2016年度科研成果報告書『近現代中央アジアにおけるイスラームの展開』東京外国語大学海外事情研究所、3-14頁
- 坂井弘紀「カザフ草原の「タンバル(タムガル)の岩絵」」『和光大学表現学部紀要』17, 49-62頁
- 坂井弘紀「テュルクの英雄叙事詩：中央アジアの語り手を中心に」『説話・伝承学』25, 70-89頁
- 坂井弘紀「中央ユーラシアのテュルク叙事詩の英雄像」『口承文芸研究』40, 198-209頁
- 櫻間瑛「東方宣教活動の現在：沿ヴォルガ地域における正教会の活動と民族文化」『ロシア史研究』100, 66-93頁
- 澤田稔「『タズキラ・イ・ホージャガーン』日本語注釈(6)」『富山大学人文学部紀要』66,

55-82頁

- 澤田稔「『タズキラ・イ・ホージャガーン』日本語注釈(7)」『富山大学人文学部紀要』67, 31-60頁
- 塩谷哲史「伊犁通商条約(1851年)の締結過程から見たロシア帝国の対清外交」『内陸アジア史研究』32, 23-46頁
- 塩谷哲史「中央アジア乾燥地域の都市と水資源:ヒヴァ」『歴史と地理:地理の研究』196(通巻703号)66-73頁
- シャクチ・メルシャト「ウイグル族都市社会における「チャイ(chay)」の意味:第三の場所と社会関係資本の視点から」『お茶の水地理』56, 11-18頁
- 新免康「中国新疆におけるテュルク語歴史叙述とヤークーブ・ベグ」『中央大学文学部紀要』266, 41-65頁
- 菅原純「ウイグル人のマザール:現代「シルク・ロード」における聖地と信仰」『日中韓周縁地域の宗教文化』3, 27-62頁
- 趙衛国「中国「内地新疆高中班」の少数民族生徒の学校適応と文化的アイデンティティ形成に関する位置考察:山東省Y市A高校での聞き取り調査を中心に」『大東文化大学人文科学研究所人文科学』22, 17-28頁
- 長沼秀幸「19世紀初頭カザフのハンに対するロシア帝国の政策:中ジュズにおけるハン並立制の分析を中心に」『日本中央アジア学会報』13, 1-24頁
- 長沼秀幸「カザフ草原西部におけるロシア帝国の統治の協力者(一七八四-一八二四年)」『ロシア史研究』100, 166-190頁
- ナムジャウ「新疆オイラド・モンゴル社会における活仏信仰の位置づけ:シャリワン・ゲゲンの仏教寺院の事例から」『総研大文化科学研究』13, 195-209頁
- 西原明史「視点としての新疆文学:ウイグル族の民族的自己成型理解のために」『安田女子大学紀要』45, 33-43頁
- 西脇隆夫「キルギス族の昔話について」『比較民俗学会報』38(2), 1-7頁
- 半谷史郎「朝鮮人の強制移住:ロシア極東から中央アジアへ」『歴史評論』802, 18-30頁
- 廣瀬陽子「中露の狭間で揺れる中央アジア経済政策」『世界経済評論』61(1), 35-43頁
- 藤本透子「カザフの子育て:ゆりかごの向こうに広がる世界(特集:展示に探る民族の世界観・死生観)」『季刊民族学』162, 67-74頁
- ポボワ・イリーナ・F「一九世紀から二〇世紀初頭におけるロシアの中央アジア探検隊」『東洋学術研究』56(1), 142-171頁
- 堀江正人「カザフスタン経済の現状と今後の展望」『国際金融』1302, 24-30頁
- 堀川徹「中央アジアのイスラーム」『歴史と地理:地理の研究』196(通巻703号)46-53頁

- 和田春樹、塩川伸明、宇山智彦、池田嘉郎、長縄宣博、松里公孝「ロシア革命百周年記念討論会」『ロシア史研究』99, 26-61頁
- KIKUTA Haruka “Venerating the Pir: Patron Saints of Muslim Ceramists in Uzbekistan” *Central Asian Survey*. 36 (2), 195-211
- MATSUI Kayo, AKHAPOV Yerlan, KUSSAINOVA Maira and FUNAKAWA Shinya, “Management of Wood Resources: A Dilemma between Conservation and Livelihoods in a Rural District in the Aral Region” *Energy for Sustainable Development*. 41, pp.121-127
- USMONOV Farrukh and INAGAKI Fumiaki “Japan and Water Resources of Tajikistan: Contribution, Challenges, and Realities” *Central Asia and Caucasus: Journal of Social and Political Studies*. 18 (3), pp.70-77
- WANG Ke “Between the ‘Ummah’ and ‘China’: The Qing Dynasty’s Rule over Xinjiang Uyghur Society” 『国際文化学研究：神戸大学大学院国際文化学研究紀要』48, 183-219頁